

C.....05
エノキ
 京都パークホテル



大和大路通七条下ル
 三十三間堂廻り町
 高さ 22.2m
 幹周 3.47m
 にれ科 / 落葉高木

当地はかつての方広寺の境内地にあたり、このエノキは明治以前からあったものと思われます。

このホテルは、国内・外からの観光客で賑わう観光スポットにあります。昭和50年代に建物は新築されましたが、このエノキはそのまま残されたそうです。樹木への愛着と景観への配慮を感じさせます。

C.....07
 ほうじゅうじ
法住寺
クスノキ



大和大路通七条下ル三十三間堂廻り町
 高さ 12.9m 幹周 3.75m
 くすのき科 / 常緑高木

庫裏の西側に植えられていて、遠くからもよく目立ちます。

サルスベリ

みそはぎ科

中国原産の落葉樹。日本には江戸時代に渡来しました。幹肌はなめらかでつるつるしていて、樹皮がはがれ落ちた跡が白くなります。7月から9月の夏の盛りに、紅や白などの花を咲かせます。別名の百日紅(ヒャクジッコウ)は、花の咲いている期間が長いことから名付けられました。



C.....06

ようげんいん
養源院
ヤマモモ

大和大路通七条下ル
 三十三間堂廻り町
 高さ 10.5m
 幹周 4.35m
 やまもも科 / 常緑高木



養源院は、淀君が父・浅井長政の菩提を弔うために建立した寺です。このヤマモモは、豊臣秀吉が伏見桃山城内に手植えしたものを、後年この地に移植したのだと伝えられています。